



新しき變形

島田忠夫

中河與一氏が『東京朝日』に『偶然の毛毯』と題し、偶然論提唱について書いてゐた。それから『讀賣』に『つれづれ人間學』を書いた。その中に『吾々はピカソの繪を見てひところは未來派と評しひところは新古典主義と批評した。その繪は自然を解体し、變形し、實に不可解である事が多かつた。而もピカソは斯う云つてゐるのである。自分は自然から感じ、自然から發見したものは、つれづれ自分の繪をつつてゐる。僕は近頃この位正直で興味深い言葉を見た事がない』

『ピカソは決して架空によつて出發はしないのである、自然を見ることによつてその藝術を一つのロマンチックな世界にまで進めてゐるのである。それ故に彼によつては、それはリアリズムであると同時にロマンチズムであるのである。現代のリアリズムは斯の如き世界に到達するより他にいくところはないのである』

『吾々はリアリズムと云つて寫眞の眞似をしたり』

磐城歌壇

五月題詠々草

新妻久満男選
『春雜詠』川越 加藤 純 弘
○日路はるか麥畑に丘に來て、雲雀の聲を一つきたり
○雨煙る軒に來りて玄鳥は、去年の眞跡をのぞき見て居り
○更けし夜の静寂の折は遠小田に、蛙呼び交ふ聲が聞ゆる
○霧深き武藏の野邊の秩父嶽も、煙りて見えず春近くらんか

列入山探炭會社創業四十周年記念式典賦似

佐波 古 嶽

創業探炭四十年 貫榮終始盡忠
富原廣大邦家利 謝祭今方辭祝延
維持勵蕩麗春光 炭礦深鑽事業長
四十周年記念日 全山裝飾祝延張
入山天地萬人理 幽靜神輿巡市街
謝祭祭儀歡喜裡 仰祈神恩尙無涯

潮聲觀靜抄帳

鹿鳴 春灯 互選

○鹿鳴 春灯 互選
春灯に近く座れりともしに 香村子
芹摘の水を濁してゆき男我れ春の灯に涙を断つ
新らしき屏風に古りし誰かな

誰が殺したか

國枝史郎作 龍造寺 贈書

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。

旅

春岡 芳雄

灰色の鋪道をうづらうづらうと早春の雨
旅人の心をうづらうづらうと早春の雨
空虛な心にうづらうづらうと早春の雨
顔 顔 顔

小 説

誰が殺したか

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。

債務の含む神秘性に就て

TY 生

神秘！ 神秘と云へば我々が生存する此の宇宙其處に示現され我々に覺醒されるあらゆる現象一つとして不可思議神秘ならざるを得ない。四季の循環朝夕の別太陽は東より出で西に沈む我々人類の食ひ知識にては容易く或は到底解決され得ざる問題は山積其

旅

春岡 芳雄

灰色の鋪道をうづらうづらうと早春の雨
旅人の心をうづらうづらうと早春の雨
空虛な心にうづらうづらうと早春の雨
顔 顔 顔

誰が殺したか

國枝史郎作 龍造寺 贈書

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。

旅

春岡 芳雄

灰色の鋪道をうづらうづらうと早春の雨
旅人の心をうづらうづらうと早春の雨
空虛な心にうづらうづらうと早春の雨
顔 顔 顔

捜査範囲は、もはやひと握といふ所までせよめられ形だつた
青山、アンナ、平泉三人の容疑者が留置された。犯人はこの三人のうち誰かに相違ない。物的證據はなほない。チクリと警部をつかみさすれば、ちぎ補の第六感に刺すものがあつた。
『すまないが、ちよつと脱走した。』
『ちよつと見ただけだ』
『オトパーですか』
『オトパーです』
『オトパーですか』

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。

『急用でも出來たのかい』
『實は、旦那、ほら、今日丁度蝶子さんの初七日にあつたつてゐます。仕事をすらすらと来てくれ』
と何か低くうなづたやうな口調で。



木村病院 電話 一六四番

美味で評判のイワキサロン 平町電三五二

株式買収 債権取立 合資三共商事 平町大町電三六〇

新田町の おでん 榮ちやんで (十二、三の新年) 至急募集

平町新川町

新車御披露
素晴らしい乗心地の！
三十五年式流線型新車が参りました。
是非御試乗御利用の程を御願申します。

三井タクシー 電話 六八五番

腸胃科 専門
内科 腸胃病科
花柳病科 性病科 皮膚科

院醫科性胃腸村松
(番七〇一電町南町平)

店員募集
二十才以上二十六、七才迄一名
十四、五才小 店員一名
希望の方、履歴書持参談話(委細面談)
平町二丁目
日東商會

痔 が快癒
大好評...**フタバの磁氣**
平町中町(電話一九三番)

眞の流線美
グロモ排してクローム直線の交又も美しき
35年型抜群の
流線ダツチ
彩りも花と艶を競ふ...銀ネツミ
御試乗下さい
素晴らしい乗心地を！
東京鐵道局公認
不二タクシー
電話 三二番

安齊外科醫院
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院(電話四七五番)

産科 婦人科 午前宅診 午後往診
花柳病科 入院應需
井坂醫院 平町田町(元合津醫院跡) 電話五五九番

吸入用酸素 純度 99%
モノサシ マス
ハカリリ 寒暖計
關内藥局 電話四〇番

内科 平南町(電二四三)
川井内科診療所 川井安子

流行ノ下駄ト草履ハ！
ドコヨリ安イ
南町 三井ハキモノ店
(小僧さん入用) 電話一八一番

耳鼻科 専門
平町南町一六番地
大和田醫院 (病室完備) 電話一七〇番

平會館 庶務有難う存じます
平町南町一六番地

中野齒科醫院
院長 日本齒科 中野 憲次
日本齒科 醫學士 西川 誠
平町田町(松月堂向) 電話五〇九番

目科療診
一、齒科 一般
保存科、補綴科、齒槽外科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、レントゲン科

安齊外科醫院
平町田町赤心堂病院(電話四七五番)

快勝卅年を記念して 薫風を衝く五百餘名

昨日の平商一萬米マラソン

平商學校では昨二十七日夜一五時五分... 第三十周年海軍記念日に... 薫風を衝く五百餘名

海老の勇士を繞り 實戦談に花咲く

昨日尼子亭で感激の會合

在郷軍人分會海軍部では昨午... 實戦談に花咲く

陸軍へ納めた 郡産羊毛好評

十組合から大量賣却

石城郡農會では既報の如く... 郡産羊毛好評

修學旅行

一行六百名

小學校三小學校聯合の修... 修學旅行

青年學校職員 艦上講習

那珂の艦上講習... 青年學校職員

財政部協議

市制施行調査進捗... 財政部協議

郷土の史的時事解説 (二) 白水阿彌の第二回修理

白水阿彌の第二回修理... 郷土の史的時事解説

宵の路上に問ゆる 敗殘の不具鮮人

病舎の一隅望郷に泣く

宵の路上に問ゆる... 敗殘の不具鮮人

海を眺めてるうち 死ぬのが厭になる

青森で見つかった心中行

海を眺めてるうち... 死ぬのが厭になる

梅香歸る

ホットした久本

梅香歸る... ホットした久本

窃盗團捕る

植田署で三十四名... 窃盗團捕る

伊東氏の身内 新に二百名

現下... 伊東氏の身内

宵の路上に問ゆる 敗殘の不具鮮人 (續)

敗殘の不具鮮人 (續)... 宵の路上に問ゆる

海を眺めてるうち 死ぬのが厭になる (續)

死ぬのが厭になる (續)... 海を眺めてるうち

梅香歸る (續)

梅香歸る (續)... ホットした久本

窃盗團捕る (續)

窃盗團捕る (續)... 植田署で三十四名

伊東氏の身内 (續)

伊東氏の身内 (續)... 現下

御參詣團體募集... 一、成田山... 二、柳津虚空蔵尊... 三、日光

主催 尼子遊覽部... 電六四〇番

磐城代表的の土産品... 山、靈峰、羊羹、里、柿羊羹... 海、のり、羊羹、各一本、金十錢

平屋賣店... 製造發賣元

大河内接骨院... 大河内寅雄... 平町六丁目(橋際) 木村外科醫院